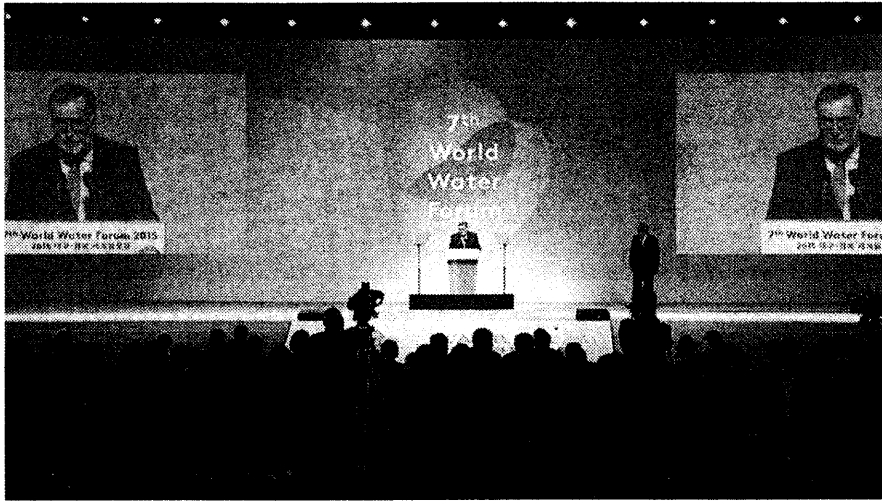


英知集め水問題解決を

「第7回世界水フォーラム」韓国で

170カ国が参加



6日間にわたり開かれた第7回世界水フォーラム。170カ国約3万5000人が参加した

第7回世界水フォーラムが韓国の大邱(テグ)を中心に、12日から17日まで開催された。大邱EXCOコンベンションセンター、慶尚北道ITC Oコンベンションセンターをメイン会場に、世界170カ国から約3万5000人が参加、「私たちの未来への水、安全で豊かな水を全ての人々に」をテーマに約400のテーマセッションが展開された。

3年ごとに開催される世界水フォーラムは、水に関する全てのステークホルダーとして国際機関や各国政府、地方政府、学界、リサーチセンター、民間企業、専門家ネットワーク、事業者やNGO、NPO、さらにメディアが参集し、水を多面的な視点から捉え、将

来の水政策を提言する世界最大級の会議。今回は各国の首脳級が参加する政治プロセス、具体的なテーマを掲げて討議されるテーマ別会議、地域性テーマ、科学技術の4つのメインプログラムで展開された。

また、70の市民フォーラムや100を超えるサイドイベントが開催され多くの参加者で賑わった。展示会場は1万8000平方メートルで世界から約300ブースの出展があり、韓国、日本、アラブ首長国連邦など15カ国が個別に自国のパビリオンを開設した。

なお、次回「第8回世界水フォーラム2018」の開催地は、ブラジルの首都ブラジリアと発表された。12日に行われた開式

ではホスト国を代表し、パク・クネ大統領が最近世界中で起こっている水不足の現状を述べ、「水問題の解決は、地球温暖化による水資源への影響など1カ国だけでなく、国際的なつながりで人間の英知を集め、解決することがますます重要になってきている。次世代のため

に、今回の第7回世界水フォーラムの成果を期待する」とあいさつした。首脳級が参加したハイレベル会合では、水の安全保障と持続可能な水循環を築く提言として、インフラへのファイナンス問題、国連MIDGの後継策、国際連携のありかたなど2030年に向けた提言がなされた。太

田昭宏・国土交通大臣は、慶州会場での世界水フォーラム「関係会議」及び「円卓会議」さらに「第2回日中韓水担当大臣会合」に出席した。テーマセッションの特別なものとしては、地球温暖化に適応する水リスクの低減、水とエネルギーと食糧問題、水災害と防災対策、各国の水方

バナナスが取り上げられた。新しいテーマとして「水の文化、正義、そして公平さ」が討議され、多様性のある水文化の継承の大切さ、女性と水、新しい水倫理のあり方などに焦点が当てられた。(取材協力)グローバルウォーター・ジャパン代表・吉村和就氏)

日本を世界に発信

総力を挙げて

賑わう日本パビリオン

日本政府や企業・団体が出展した日本パビリオンが多くの注目を集めた。オープニングセレモニーでは、日本水フォーラムの竹村公太郎・事務局長が「参加されている産・官・学、民間、NGOを含め総力を挙げて、日本の水への取り組みを世界に発信しよう」と力強くあいさつし、国土交通省の宮本健也・河川調整官および関係者で、日本パビリオンの成功を祈



り日本から持参したタルマに目を入れた写真。また、14日には在韓民国日本国大使館から別所浩郎・特命全権大使が日本パビリオンを訪れ、

各展示ブースを回り説明員を激励した。またIWA会長をはじめ多くの海外の要人、水谷重夫・水ing社長、中本晃・島津製作所社長、自社ブースを設けた日豊昭廣・東レ社長ら日本各社トップも姿を見せ、連日賑わいを見せた。

- 交通省港湾局▽文部科学省▽東京大学地球観測データ研究機構▽厚生労働省▽日本水道協会▽農林水産省▽環境省▽地球環境戦略研究機関▽国際協力機構(JICA)▽国際農林水産業研究センター▽大分県▽建設技術研究所▽JFEエンジニアリング▽島津製作所▽トテツ▽日立造船▽メタウォーター▽水ing▽八千代エンジニアリング▽鹿島建設▽日本無線▽Comacua▽水のいのちとものづくり中部フォーラム▽水資源機構▽農業農村工学会▽九州から世界水フォーラムへ実行委員会